

第5期雄武町総合計画前期基本計画 施策評価調書（兼政策評価基礎調書）

政策目標	4	うるおい・雄武	整理番号	73
基本施策	21	情報通信網の整備・充実	評価責任者	総務課長 原 正美
単位施策	2	行政情報化の推進		住民生活課長 渡辺 孝司

1 施策の概要

基本方針	職員の行政機器に関する知識・技術の習得を進めるとともに、個人情報保護に十分に留意しながら、効率性のある行政事務の更なる電子化、ネットワーク化を進めます。	
現状と課題	【現状】（平成21年度末）	【現状】（平成23年度末）
	町公共ネットワークや住民基本台帳ネットワークの整備、北海道電子自治体プラットフォーム構想の推進、総合行政ネットワークへの接続を進めるとともに、各種業務用システムの整備などにより、サービス水準の向上や業務の効率化に努めています。	町公共ネットワークや住民基本台帳ネットワークの整備、北海道電子自治体プラットフォーム構想の推進、総合行政ネットワークへの接続を進めるとともに、各種業務用システムの整備などにより、サービス水準の向上や業務の効率化に努めています。
	【課題】（平成21年度末）	【課題】（平成23年度末）
	住民基本台帳ネットワークや北海道電子自治体プラットフォーム構想において、サービスの拡充が進んでいないこと、及び各種システムの一元化を含めた効率化のための人材育成と体制整備が課題となっています。	住民基本台帳ネットワークや北海道電子自治体プラットフォーム構想において、サービスの拡充が進んでいないこと、及び各種システムの一元化を含めた効率化のための人材育成と体制整備が課題となっています。

2 基本施策指標

指標1	指標名	町ホームページの年間アクセス件数						
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							65,000件
	実績値	43,250件（H18）	69,584件	71,135件	87,492件	89,668件		
指標2	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							
	実績値							
指標3	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							
	実績値							
指標4	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							
	実績値							
指標5	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							
	実績値							
指標6	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							
	実績値							
指標7	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							
	実績値							

3 単位施策を構成する事務事業の評価結果等

【貢献度の区分 A：高い B：やや高い C：やや低い D：低い E：なし】

No.	事務事業名	担当係名	23年度 決算額 (千円)	総合評価	今後の 展開方向	単位施策への 貢献度
①	総合行政ネットワーク（LGWAN）整備事業	情報統計係	315	A	終了	A
②	北海道電子自治体プラットフォーム（HARP）推進事業	情報統計係	614	A	継続/現状維持	A
③	雄武町公共ネットワーク整備事業	情報統計係	630	A	継続/現状維持	A
④	災害対策二次データバックアップ環境構築事業	情報統計係	735	A	終了	A
⑤	住民基本台帳ネットワークシステム事業	戸籍住民係	3,002	A	継続/現状維持	A
⑥	公的個人認証サービス機器更新事業	戸籍住民係	270	A	終了	A
⑦	住民基本台帳法改正対応システム改修委託事業	戸籍住民係	15,571	A	継続/現状維持	A
⑧	上下水道事業料金管理電算機更新導入事業	水道業務係	3,348	A	継続/現状維持	A
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						
⑬						
⑭						
⑮						

4 施策の個別評価【A：評価が高い B：やや高い C：やや低い D：低い】

評価の視点	評価結果	理由、説明等
① 妥当性	A	限られた財源、職員数のなかで、多様化・高度化・複雑化する行政ニーズに対応し、サービスの向上を図るためには、ITを効果的に活用することが必要であり、施策として妥当である。
② 有効性	A	既存の各種システム等は、行政の効率化や省力化、質の高い住民サービスにつながっており、有効に機能している。
③ 効率性	A	各種システム等の設置及びネットワーク化により、事務作業の効率化が図られている。また、物理的障害に対するバックアップ環境を構築したことで、不測の事態に対する事務の停滞を極力抑えることが期待できるようになった。
④ 公平性	A	各種システム等は、サービス水準の向上を図るとともに、行政情報の提供手段として活用され、その効果は町民に等しく還元されるものであり、公平性は確保されている。
⑤ 町民意見の反映	B	議会議員や町民からの貴重な意見には随時応えているが、この施策に対する町民意見を求めたことはない。

5 総合評価【A～D】

A：政策目標の達成に効果的であり、現在の施策を継続することが必要 等

B：政策目標の達成に効果的であるが、具体的な課題の解決に向けて一部取組を改善するなど、施策を充実することが必要 等

C：政策目標がほぼ達成されていることから、施策が一定の役割を終えつつあり、終期を見据えて縮減することが必要 等

D：(1)政策目標の達成に効果的であるが、事業構成が十分ではなく、新たな事業構築など取組を全体的に見直すことが必要 等

(2)政策目標の達成に向けた効果が認められないことから、施策の廃止も含めて抜本的に見直すことが必要 等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
A	A	
現在の行政情報化の推進状況において、各種システム等の効率的な活用により、行政事務の効率化と町民サービスの向上が図られている。	同左	

今後の方向性

継続/内容の見直し・変更	継続/内容の見直し・変更	
現行システム等の一元化や、さらなるネットワーク化など、ITの効果的・効率的な利活用に向けた見直しを進めていく必要がある。	同左	

*今後の方向性の区分

○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○終了 ○休止 ○廃止